



Data	2023-128
監督・脚本:	トーマス・ハーディマン
ヘアスタイリスト&ウィッグ・アーティスト:	ユージン・スレイマン
出演:	アニタ=ジョイ・ウワジェ／クレア・パーキンス／ダレル・ドゥシルバ／デブリス・スティーンソン／ハリエット・ウェッブ／カエ・アレキサンダー／ルーク・パスカリーノ／ハイダー・アリ

👁️👁️ みどころ

名探偵、名刑事の名推理も面白いが、全編ワンショットの英国発ゴシップ・ミステリーとは一体ナニ？ヘアコンテスト会場で起きた、スター美容師の変死事件は一体なぜ？その犯人は？

韓国のホン・サンス監督作品は「会話劇」が“売り”だが、本作は3人の美容師、4人のモデル、11名の容疑者による噂や疑惑そして中傷、脅迫等の“悪意に満ちた会話劇”の中で、少しずつ犯人の特定に・・・。

美容師志願の人は、こりゃ必見！その世界に興味も関心もない私にはイマイチだが、「メドゥーサの蛇」とは？その意味をしっかりと考えながら、本作特有の撮影手法に注目すれば、意外に面白い！？

■A24 配給で注目！本作の謎い文句は？■

製作・配給会社 A24 は近時、意欲作を次々と世に送り出し、映画ファンから絶大な支持を得ているが、本作はその A24 が配給したもの。監督は本作が長編デビュー作となるトーマス・ハーディマンだが、なぜ A24 は本作を配給したの？

チラシによれば、本作は「カリスマ美容師の変死体。3人のライバル美容師と4人のモデルたち。11人の容疑者による、噂と疑惑があらわにする真実とは・・・？」。そして、その「謎い文句」は「英国発ゴシップ・ミステリー」。本作のキーワードは「悪意は広がる」だ。

私は美容の世界には全く興味が無いし、ヘアスタイルのことも全くわからない。チラシには美人モデルの巨大なヘアスタイルが写っているし、パンフレットにも4人の美女モデルのヘアスタイルが写っているが、私はその異様さにビックリ！しかして、本作のタイトルにされている『メドゥーサ デラックス』とは一体ナニ？

■□■ギリシャ神話の“メドゥーサの蛇”とは?■□■

ウィキペディアで「メドゥーサ」を調べると、そこには詳しい解説がある。しかして、本作のパンフレットでも同じように、メドゥーサについて「ギリシャ神話に登場する怪物で、ゴルゴン三姉妹の末娘。アテナの神殿でポセイドンと関係を持ち、アテナの怒りを買って、姿を変えられてしまった。美しい髪が自慢だったが、髪は蛇になっている。直視した者を石にしてしまう力があつた。カラヴァッジョやレオナルド・ダ・ヴィンチ、ルーベンスやダリといった芸術家にインスピレーションを与えてきた存在。」と解説されている。また、「メドゥーサの蛇」とは、まるで蛇のようになった彼女の髪は蛇の毛のことだ。

■□■全編ワンショットの英国発ゴシップ・ミステリー！■□■

本作のポイントは、パンフレットを引用すれば、「年に一度開催されるヘアコンテスト。その当日に起こったスター美容師の変死事件 ライバル美容師や関係者による噂と疑念があらわにする真実とは・・・？」とされている。

また、そのストーリー展開は、公式 HP を引用すれば次の通りだ。すなわち、

舞台は年に一度のヘアコンテスト。

開催直前、優勝候補と目されていたスター美容師が変死を遂げた。

奇妙にも頭皮を切り取られた姿で発見されたのだ。

会場に集まっていたのは、

今年こそ優勝すると誓って準備を進めていた美容師3人とモデルたち4人。

さらに主催者や恋人、警備員らを巻き込みながら、

事件や人間関係に関する噂をひそひそと囁きはじめる――

本作のパンフレットには「アカデミー賞候補の撮影監督が魅せる「キャリア史上最高の仕事」新たな才能のもとに豪華スタッフ陣が集結」と書かれている。その意味は、パンフレットによれば次の通りだ。すなわち、

ここに名探偵や名刑事はいない。物語の主人公と呼べる存在もない。カメラはギリシャ神話に登場するメドゥーサの蛇のごとく、コンテスト会場の廊下をうねりながら進み、部屋から部屋を渡り歩いて、関係者たちの間に広がる混沌と真相を映し出していく。果たして、噂とゴシップの先に見える風景とは？新感覚、英国発のワンショット・ミステリーが誕生した。

■□■3人の美容師、4人のモデル、11人の容疑者に注目！■□■

韓国のホン・サンス監督作品の特徴は、第1に吉野家の牛丼と同じく、「安い、早い、うまい」こと、第2に、常にそのすべてが会話劇であることだ。本作もそれと同じで、冒頭、美容師のクリーヴ（クレア・パーキンス）が、美容師モスカの怪死事件について、自分のモデルである、アンジー（リリト・レス）に語りかけるシークエンスが登場する。アンジーの髪は蛇の毛の巨大さを見れば、これがコンテストのためであることは明らかだが、以降本

作は、3 人の美容師、4 人のモデル、そして、コンテスト主催者であるレネ（ダレル・ドゥシルバ）と 2 人の警備員を中心とする会話劇で進行し、11 名全員が容疑者になっていくので、それに注目！

3 人の美容師と 4 人のモデルは全員女性だが、主催者のレネと警備員のギャク（ハイダー・アリ）とパトリシオ（ニコラス・カリミ）は 2 人とも男、またモスカの死を主催者から聞かされるモスカの恋人アンヘル（ルーク・パスカリーノ）も男だが、彼は私流の古い表現で言えばオカマだ。彼は可愛い赤ん坊・パブロを連れているが、これは一体誰の子供？それはともかく、本作では、パンフレットに掲載されている登場人物 11 名全員が容疑者とされていくので、そのストーリー展開と推理の展開に注目！

■□■次々と出る噂と疑念から、どんな真実が露わに？■□■

刑事コロンボや名探偵シャーロック・ホームズの物語では、知性あふれる刑事や名探偵の推理力によって、さまざまな真実が明らかにされ、その結果、犯人が特定されていくことになる。それに対して、本作には名刑事も名探偵も登場しないばかりか、3 人の美容師と 4 人のモデル、そしてコンテストの主催者や警備員など 11 名の“容疑者”が、「私たちの中に殺人鬼が潜んでいるのかも」「モスカは報いを受けるべきだった」等の噂話を次々と展開するとともに、「彼女はコンテストに勝つため不正を働いている」等のさまざまな疑惑が語られる。もちろん、それらの真偽は定かではないが、メドゥーサの蛇の如く、11 名の容疑者たちが迷路のようなコンテスト会場内の部屋や廊下を歩き回りながら展開していく噂話と疑惑のオンパレードは、一体どんな真実を露わにしていけるのだろうか？

本作では、名刑事や名探偵の推理力ではなく、3 人の美容師、4 人のモデル、11 人の容疑者の会話劇の中で次々と登場してくる噂や疑惑が、犯人特定に向けたストーリーの“推進力”になっていく。本作導入部で、「こいつが怪しい」と思わせる男は、警備員のギャク。だって、ロッカーの“汚れ”を拭くティッシュをもらうためとはいえ、平気で女子トイレに入ってくるのだから・・・。

「このコンテストには不正がある」と疑惑の目が向けられたことによって、一気に窮地に陥るのは、コンテストの主催者であるレネだ。殺された美容師モスカの元恋人だったレネは、モスカの現在の恋人であるアンヘルにすぐに連絡を取ったから、アンヘルはモスカの幼い子供パブロを連れて、コンテスト会場にやってくることに。しかし、子連れの彼が登場してきたことによって、事態はますます混乱するばかりに・・・？

他方、4 人のモデルは美しさを誇るだけで、あまり口は達者ではないから、逆に殺人を犯すようなタマには見えない。それに対して、いずれも太っちゃでパワフルな 3 人の美容師たちは、口も相当達者だし、その口調は悪意に満ちているから、彼女たちはヤバい。とりわけ、クリーヴは、過去にモスカと揉めて暴力沙汰になったことがあるうえ、主催者のレネに対して「彼は報いを受けるべき」と公言していたから、この女はヤバそう。さらに、

